

2018年「原水禁世界大会」に参加して

感想と意見

そして自身の今後の取り組みについて

・参加させていただき大変感謝しています。54年ぶりに広島を訪問したこと。大会に参加したことにより、現在の運動の現状と課題を強く認識できること。そして、多くの国、団体の取り組みを学ぶことができたことにより、自分たちの今後の取り組みについての課題やヒントになったこと…署名や政府への意見書や展示について自治体にもっと積極的に働きかけること。

・原爆ドームと平和資料館を見学して原爆投下の悲惨さ・核兵器廃棄の大切さを強く感じ、各国の署名が遅れている「ヒバクシャ署名」を日常的に行わなければと思う。

・早起きして平和祈念式典に参加できること。一般の人が参加できないかなと思っていたが、近松さんが「会場の周りに立つことができるし、今年もいくつも」と言われて参加できたことを感謝しています。



・平和祈念式典では若い人がたくさんいることに驚いた。高校生のボランティア？先生に引率された中学生たち、彼ら彼女たちが引き継いでいることが嬉しい。

・石川県代表団では20代の人が11人いて嬉しいことだし、親子で参加した子供たちが5人もいたことも良いことだと思う。また、2日目の動く分科会で「原爆似の島少年少女の集い」「岩国基地調査行動」「被爆電車に乗って」「碑めぐり・遺跡めぐり」「映像のひろば」など興味が湧く分科会に参加されたことも良かったと思います。

・残念に思い、今後早く解決すべきこと…。開会総会が終わって電車乗り場に向かうとき、デモする原水禁の団体にすれ違ったこと。たぶん自分が使ったドームに向かっているのだと思うが、早く統一して共闘したい。

(「原水禁世界大会感想文集」から転載しました。県健康友の会から参加されたM・Mさんの感想=全体会と分科会は紙幅の関係で略)

「小松基地問題と谷本県政」その②「米軍と一体化を目指す日米共同訓練」

I、小松基地への米軍機の訓練移転

在日米軍再編による「沖縄の負担軽減」を名の下に、在日米軍基地の戦闘機の訓練移転（日米共同訓練）が2007年より始まりました。沖縄県の嘉手納基地、山口県の岩国基地、青森県の三沢基地から米軍戦闘機が小松基地に飛来し、小松基地等の戦闘機と共同訓練を実施しています。

※直近では、2016年7月26日～28日に嘉手納基地から米軍戦闘機が飛来し実施されました。

II、集団的自衛権行使に繋がる米軍爆撃機や米軍空母を護衛する訓練

●2009年8月にアラスカで行われた多国間軍事演習（レッドフラッグ・アラスカ）で、小松基地所属のF15戦闘機が敵地を攻撃する米軍のB52戦略爆撃機を護衛する訓練を実施。

●2017年8月に日本海上空で、小松基地のF15戦闘機2機が米軍B52戦略爆撃機を護衛する訓練を実施。

●2017年6月に日本海で、小松基地のF15戦闘機が米海軍機とともに米軍空母を護衛する訓練を実施。

●2017年11月に日本海で、小松基地のF15戦闘機が米海軍機とともに米軍空母を護衛する訓練を実施。

これらは、敵地を攻撃する米軍爆撃機や空母を敵戦闘機や攻撃機から守るための訓練であり、集団的自衛

権行使を前提とした訓練と言えます。

III、北朝鮮威嚇行動への参加

2017年8月にF15戦闘機と共同訓練を行った米軍B52戦略爆撃機は、その後朝鮮半島周辺を飛行し北朝鮮への軍事的威嚇を行いました。また、2017年6月と11月に日本海でF15戦闘機と共同訓練を行った米軍空母は、北朝鮮への軍事的威嚇行動を行っていました。日本の自衛隊戦闘機が米軍とともに軍事的威嚇行動を行っていると、北朝鮮から思われても仕方ありません。

IV、戦闘機部隊だけではない日米共同訓練

●2014年6月に小松救難隊の救難ヘリコプターが米軍空中給油機と空中給油訓練を実施。

●2014年11月に白山周辺や日本海で小松救難隊が米軍救難ヘリコプターと共に共同訓練を実施。

●2016年2月にグアムで行われた日米豪共同訓練（コーポノース・グアム）に小松救難隊の救難捜索機が参加。

●2016年11月に横田基地で米軍ヘリコプターを使用して小松救難隊が訓練を実施。

●2017年6月に日本海で小松救難隊の救難ヘリコプターが米軍空中給油機と夜間空中給油訓練を実施。

※次号は「増加する騒音問題」

ニュース・フラッシュ

- 6月27日 怒りの昼デモ
7月1日 「石川県母親大会」が県女性センターで開催され、平和分科会で柴原和美事務局長が助言者に
5日 小松基地爆音訴訟公判で、健康被害について山田裕一先生が証言しました
6日 「6・9署名行動」がエムザ前で取り組まれました
7日 「平和委員会全国大会」（8日まで岐阜市内）が開催され、山野代表理事と柴原事務局長が出席
11日 怒りの昼デモ
13日 「日米共同訓練中止を求め」小松基地へ申し入れ
16日 富山大学生協グループ9人を山野さんが平和ガイド
17日 沖縄連帯街頭宣伝（エムザ前）
17日 日米共同訓練監視行動（19日まで）
22日 「平和の子ら像」建立20周年を記念する「ピースデイ」で、アニメ『この世界の片隅に』が上映されました
7月25日 怒りの昼デモ
27日 原水爆禁止2018年世界大会石川県代表団結団式が、勤医協会館で行われました
29日 「ピース9フェスタ」が、美川文化会館で開催されました



- 8月1日 平和のための戦争展（15日まで加賀市）
2日 平和のパネル展（県被爆者友の会、青年団協議会、反核医師の会などが主催。16日まで県庁展望ロビー）
3日 3000万署名街頭署名
4日 「原水爆禁止世界大会」が6日まで広島で開催され、石川県から32人（平和委から1人）が参加しました
5日 「前川喜平氏講演会」（NPO法人未来塾）が野々市フォルテで開催され、会場にあふれる聴衆が詰めかけました
8日 怒りの昼デモ
8日 原爆と人間展（12日まで白山市）
9日 6・9署名行動
11日 「日中友好協会市民集会」が、教育会館で行われました
19日 市民アクション・いしかわ「サイレント宣伝」（金沢駅前）
22日 「怒りの昼デモ」が75回を重ねました
23日 非核の政府を求める石川の会「30周年記念祝賀会」
29日 「原水爆世界大会報告集会」が、勤医協会館で行われました